



## オーストラリアにおける女性スポーツ政策と本県の取組について

一般財団法人自治体国際化協会シドニー事務所 研修生 桑野 翔

### 1. オーストラリアにおける女性のスポーツ実施の現状

オーストラリアでは、2022年に女子バスケットボールワールドカップ、2023年に女子サッカーワールドカップ、2026年3月に女子サッカーアジアカップが開催されるなど、女性スポーツへの関心が高まっている。

オーストラリアで週1回以上スポーツを行っている女性の割合は67.3%<sup>1</sup>（2024年）で、日本の49.6%<sup>2</sup>（令和6年度）と比べると高いスポーツ実施率となっている。また、実施されているスポーツの上位3つの種目<sup>3</sup>は表のとおりで、場所や時間を問わずに行えるスポーツの実施率が高い傾向がある。

オーストラリア 		日本 	
種目	実施率	種目	実施率
散歩・ウォーキング	58.4%	ヨガ・ピラティス	22.3%
ジョギング・ランニング	37.7%	筋力トレーニング	15.1%
水泳	35.0%	散歩・ウォーキング	14.4%

（表）実施されているスポーツ種目  
（出典）笹川スポーツ財団調査報告書を基に筆者作成<sup>3</sup>

### 2. オーストラリアの取組

スポーツは、生活習慣病リスクの低下やメンタルヘルスの改善など、心身の健康や成長に影響を与える。しかし、女性のスポーツ実施率は男性より低く、女性指導者も少ないことなど、ジェンダー平等の課題がある。また、ライフステージの変化によりスポーツから離れる女性も多い。そのため、各州政府は女性のスポーツ参加を促進する取組を行っている。

#### （1）ニューサウスウェールズ（NSW）州の取組

NSW州は、より多くの女性がスポーツを楽しみ、継続的に参加できる環境を提供することを目的に「Play Her Way」という計画を策定し、女性のスポーツ参加を促す取組に対して助成金による支援を行っている。

これまでに助成金を活用して100以上のプログラムが実施されており、その中には、2019年以降、トライアスロンに3,000名以上の女性が新規に参加した事例もある。また、助成金を活用した水泳の女性コーチの育成も

<sup>1</sup> Australian Sports Commission データベース

<sup>2</sup> 令和6年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」（スポーツ庁）

<sup>3</sup> 2024年度調査報告書「女性のスポーツ実施継続における社会的・個人的要因に関する調査研究－日本とオーストラリアの国際比較調査－」（笹川スポーツ財団）

行われており、指導者のレベルに応じた実習と講義が実施されている。女性コーチの指導により、思春期の少女の参加継続が促進されているとのことである。

## (2) クイーンズランド (QLD) 州の取組

QLD 州は、女性が安心してスポーツを行える環境を整備しており、スポーツ施設の更衣室やトイレなど、77 件の施設で改修を行っている。また、女性が指導者や審判になるための用具やトレーニングに対する資金援助も行っており、例えば、クリケット競技団体はこの資金援助を活用し、女性コーチ育成のため、トップチームやユースチームでのコーチング機会の提供やトップチームコーチによるメンタリングプログラムが実施されている。

州政府によるこれらの取組により、女性のスポーツ参加率が大幅に増加しており、2014 年から 2022 年までにクリケットの参加率は 479%、ラグビーユニオン<sup>4</sup>は 160%、ラグビーリーグ<sup>5</sup>は 154%、サッカーは 34%増加したと報告されている。

## 3. 本県の取組

本県も運動に取り組みやすい環境づくりを推進しており、県が配信する「ふくおか健康ポイントアプリ」では、歩数記録や健康記録（体重、血圧、食事バランス、運動実施状況など）、イベント参加等によるポイント付与を通じて、運動の習慣化を促す施策を実施している。また、令和 7 年 1 月には WEB サイト「ふくおか健康ポイント+」を開設し、継続しやすい運動メニューや健康コラムなどの情報提供、適したトレーニングの診断など、スポーツ・運動習慣の定着に向けた情報発信を行っている。



(写真) ふくおか健康ポイントアプリの画面

本県でも、運動習慣のある者の割合は男性に比べて女性のほうが低いと推計され<sup>6</sup>、オーストラリアの状況と同様に、女性のスポーツ実施率向上が課題の一つである。女性が利用しやすいスポーツ施設への改修を支援し、そのような施設情報をふくおか健康ポイントアプリで発信することで、女性のスポーツ参加促進が期待できるのではないだろうか。さらに、スポーツ種目やレベルに応じた女性の指導者育成を行い、女性指導者のもとでスポーツを行える環境を増やすことで、スポーツ実施継続に繋がるのではないかと考える。

今後もオーストラリアのスポーツ政策に関する動向を注視しつつ、情報収集に努めたい。

<sup>4</sup> 15 人制の世界的にメジャーなラグビー

<sup>5</sup> 13 人制のオーストラリアやイギリスなど一部の国で行われているラグビー

<sup>6</sup> 令和 4 年県民健康づくり調査報告書